
食肉科研/行政情報等発信サービス

No.270 2021/6/16

1 市販鶏卵のサルモネラ汚染状況調査（令和2年度）を公表

6月14日、農林水産省は令和2年度の市販鶏卵のサルモネラ汚染状況の調査結果を公表した。全国の市販鶏卵のサルモネラ汚染状況を把握するために、1,870点の鶏卵（1点あたり鶏卵20個）を購入し、卵殻と卵内容に分けて、サルモネラの調査が行われ、卵殻については6点（0.3%）からサルモネラ（うち1点はSalmonella Enteritidis）が分離され、卵内容については1点（0.05%）からS. Enteritidisが分離された。

農林水産省は、この調査結果から、「農場から食卓まで」のフードチェーン全体での取組によって、市販鶏卵のサルモネラは低い水準で保たれていると考えられたとしている。

https://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/kekka/keiran/keiran_sal_06.html